

4. 基本戦略－3 街の中に多様なみどりを創出

目標

今あるみどりの保全・育成・活用、様々な空間への新たな緑化を進め、多様なみどりをきめ細やかにつなぎ、広げていくことにより、「都市の中でもみどりの風を感じる街づくり」を進めます。

■施策展開イメージ

- ・ 公共施設（府有施設）の緑化推進
- ・ 公共施設（市町村施設）との連携
- ・ 民有地のみどりの保全・創出

公共施設



- ・ 計画的な緑化の推進
- ・ 周辺施設との一体的なみどりづくり

民間施設



- ・ 緑化義務制度の推進
- ・ 公開空地等を活用した一体整備

生産緑地



- ・ 景観形成やふれあいの場としての活用支援

ため池、水路



- ・ 地域力を活かしたため池オアシスやまちづくり水路等の整備、活用

中小河川



- ・ 地域住民の声を反映した親水空間の整備

公園



- ・ 周辺住民と市町村との協定締結による緑化活動等への支援

下水道



- ・ 下水処理施設等大規模公共施設の緑化推進・開放

住宅地



- ・ 緑地協定等の締結による接道部の緑化
- ・ オープンガーデンなどへの支援
- ・ みどりのカーテンの普及

既存樹木（保存樹木）



- ・ 保全地域制度の活用
- ・ 地域住民の活動への支援

道路



- ・ 街路樹の充実
- ・ 緑化活動への支援等を通じた地域コミュニティの形成

学校



- ・ 校庭の芝生化や緑化樹配付、子どもたちが育てた花での緑化
- ・ ピオトープ等の整備

駅前



- ・ 駅周辺のにぎわいのある空間を創出するみどりづくりへの支援

多様なみどりをきめ細やかにつなぎ広げていく展開イメージ

■ 具体的戦略

公共施設（府有施設）の緑化の推進

◆ 府有施設の計画的な緑化の推進

民間施設の緑化を先導していく必要がある府有施設について、既存施設も含めて、敷地面積の20パーセント以上の緑化を計画的に進めるとともに、接道部の重点緑化など効果的なみどりづくりを進めます。

「府有施設等緑化推進計画」

- 計画期間： 平成18年度～平成27年度までの10年間
- 緑化目標： 平成22年度末（中間年）の緑化基準達成施設の割合を概ね「85%」
平成27年度末（最終年）の // // を概ね「90%」
(平成20年調査結果 79%)



◆ 都市基盤施設の緑化の推進

府有施設の中でも都市基盤施設については、施設種別ごとのみどりの確保目標を定め、みどりの確保に努めます。

施設種別		H8.3末	H18.3 現況	長期
都市公園	府営公園の開設面積	719 ha	885.5 ha	約 2,400 ha
道路	道路の緑化延長	406 km	443 km	約 780 km
河川	水辺に親しめる川づくりの整備延長	70 km	113.4 km	約 550 km
ダム	安威川ダム、槇尾川ダム等	緑の保全、回復に努めると共に、貯水池周辺において水と緑を活かした環境整備に努める。		
砂防	市街地等からの緑地景観に充分に配慮した斜面等	水と緑豊かな溪流砂防事業や生駒山系グリーンベルト整備事業等により緑の保全と回復に努める。		
港湾・海岸	港湾緑地の開設面積	36 ha	40.2 ha	約 350 ha
	親水性護岸の整備延長	5 km	6.7 km	約 15 km
下水処理施設等	施設内の植栽地面積	42 ha	65 ha	約 180 ha
	処理場上部を利用した緑地の開設面積	5 ha	7.3 ha	約 80 ha

公共施設（市町村施設等）との連携

◆ 公共空間を生かしたみどりの連続性の確保

市町村等が管理する道路、中小河川、駅前周辺、下水道施設、公園などの都市施設や学校、病院などの公共施設のみどりの充実と連携して、府と市町村等が一体となってきめ細やかな連続性のあるみどりを創出します。

民有地等のみどりの保全・創出

◆ 建築物緑化促進制度の推進・強化

自然環境保全条例に基づき、一定規模以上の民間施設に対する緑化義務制度を、市町村との連携のもと効率的・効果的に運用するとともに、景観に配慮した良質な緑を創出するため接道部の緑化を重点化するなど、制度の改革を進めます。

◆ 屋上や壁面、駐車場など新たなみどりの創出

大阪府のみどりの基金等を活用した支援事業等の実施により、建築物の屋上や壁面、駐車場、軌道敷など限られたスペースにおけるきめ細やかなみどりづくりを進めます。

民間事業者の先進的・モデル的な取組の公表・顕彰や、緑化の先進技術の紹介などにより、民間事業者の自主的な取組を促進します。

◆ 既存のみどりを活かした都心の森づくり

地域にある社寺林や保存樹・保存樹林、生産緑地などの既存の民有地のみどりについて、保全地域制度等の活用や府民・市町村との連携により保全・育成し、周辺のみどりとつなげることにより、都心の森を形成していきます。

